



改修工事凡例

	今回施工工事を示す。(屋外：架空・一部埋設、屋内：露出)
	既設を示す
	コア抜き貫通箇所を示す。 防火区画貫通箇所は区画貫通処理を必要とする。
	コンクリートはつり復旧範囲を示す：本工事

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

適用基準

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による。

- 「公共建築工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編) 最新版」
- 「公共建築改修工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編) 最新版」
- 「公共建築設備工事標準図(電気、機械設備工事編) 最新版」
- 「建築、電気、機械設備工事監理指針 最新版」

注意事項

- * 既設機器・器具の位置は施工前に事前確認を行うこと。
- * 施工時、断水等施設運営に支障がある場合は日程(土日祝実日・夜間作業等)調整を行うこと。
- * 配管ルートは既設現況に合わせて施工時に、協議・確認・調整を行うこと。
- * 既設配管は必要に応じて撤去すること。末端処理は化粧プラグ止め。

1階平面図(現況) 1/100